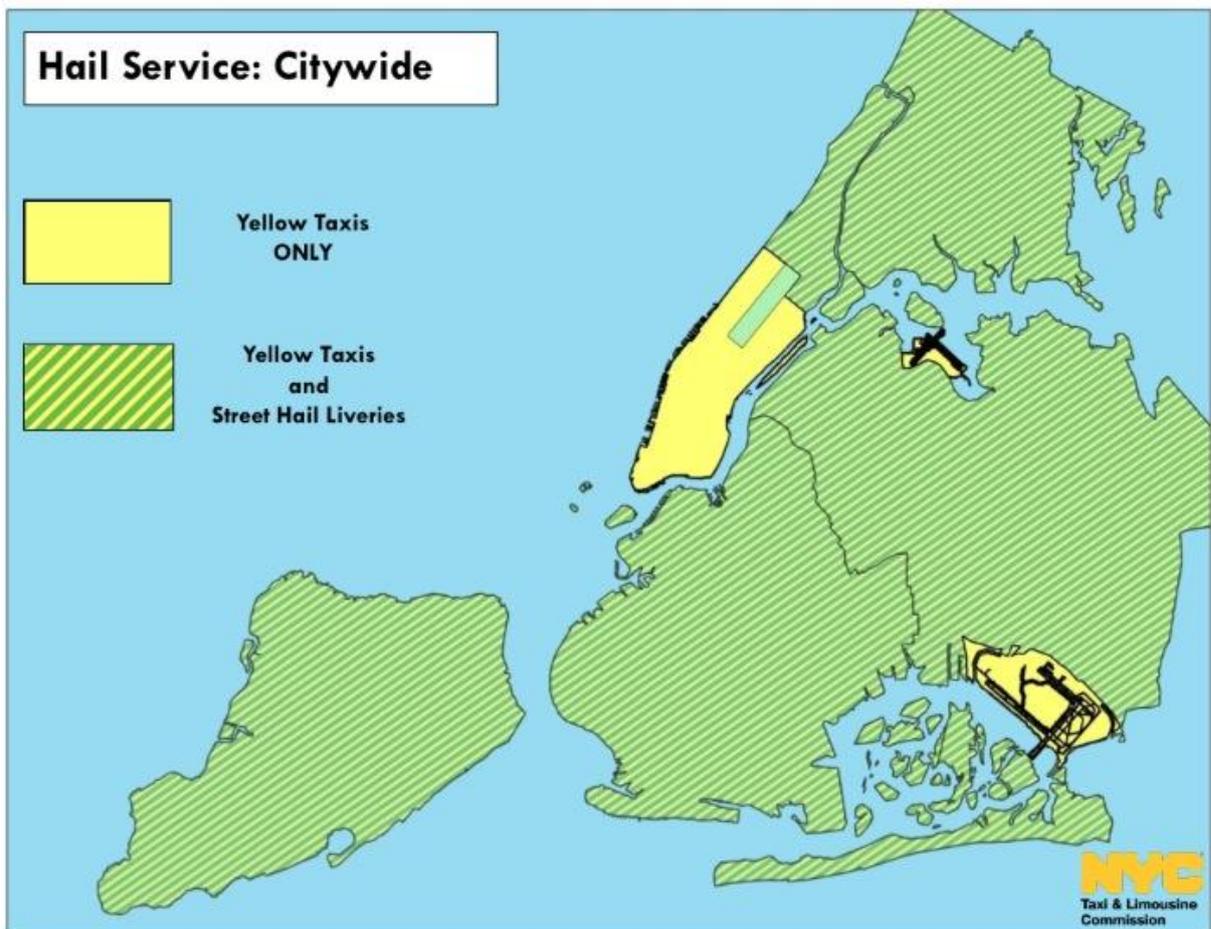


## ニューヨーク市民の新たな足「ファイブボロー・タクシー」

ニューヨーク事務所

### 1. ファイブボロー・タクシー計画

ファイブボロー・タクシーとは、ニューヨーク市の5つの行政区（マンハッタン、ブルックリン、クイーンズ、ブルックリン、スタテン島）の路上で呼び止め乗車することができる、新たなタクシーサービスです。ニューヨーク市が市民の利便性向上のため導入を目指しているもので、青リンゴ色の車体からグリーンキャブとも呼ばれています。



路上で呼び止めができるエリアの区分（黄色はイエローキャブ、黄色と緑の斜線はイエローキャブとファイブボロー・タクシー双方）

ニューヨーク市のタクシーといえばイエローキャブが有名で、市民や旅行者が路上で手を挙げてタクシーを利用する姿は、マンハッタンでよく見かける光景です。しかし97%のイエローキャブがマンハッタンと空港で乗客を載せており、それ以外の場所でイエローキャブを呼び止めることはほぼ不可能に近いのが実情です。ニューヨーク市内で、路上で乗客を載せることが認められるのはイエローキャブだけで、マンハッタン以外の地区に住む80%のニューヨーク市民は、リバリー(Livery)と呼ばれる、予約制のハイヤーサービスを利用しなければなりません。しかし実際には、路上で違

法に乗客を乗せるリバリーが多数存在し、さらにライセンスを持たない、いわゆる白タクとの区別も困難です。リバリーはイエローキャブと異なりタクシメーターが設置されていないため、料金支払を巡るトラブルも頻繁に発生しています。また、ドライバーのスキルに対する不安や、事故の際の保険による補償もないなど、様々な問題を抱えています。

こうした状況を改善するため、ブルームバーグ市長は 2011 年 1 月の所信表明演説においてファイブボロー・タクシー導入の方針を表明し、同年 6 月、州議会が計画を承認しました。2012 年にはクオモ州知事が法案に署名し、ファイブボロー・タクシー計画は同年夏の新規サービスの開始に向け、順調に準備が進められていました（実施規模 18,000 台、初年度は 6,000 台でスタート）。

## 2. 州高裁が「待った」

ところが 2012 年 8 月、ニューヨーク州高等裁判所 (State Supreme Court) がファイブボロー・タクシーの導入にストップをかけました。イエローキャブのライセンス「メダリオン」は市場性を有しており、保有者にとっては重要な資産となっています。急激なシステム変更によりメダリオンの市場価格が急落することを恐れたイエローキャブ業界の、ファイブボロー・タクシーの導入に反対する訴えを州高裁が認めた形です。イエローキャブ業界が委託した調査によれば、メダリオン価格は 25% 下落し、ドライバーの収入も 8% ダウンするといわれています。

州高裁の Arthur Engoron 判事は「デリケートなバランスの上に成り立っているシステムを、外部の力 (州議会) を利用して操作することは認められない」と判決理由で述べ、市議会を飛び越えて州議会の承認を得ることは州憲法に違反するとの判断を示しました。これに対し David Yassky タクシー・リムジン局長は「残念で不幸な出来事」という声明を発表し、市は直ちに州最高裁判 (State Appellate Court) に上告しました。

## 3. 市財政と「生活の質」

クイン市議会議長は、州高裁の判決はニューヨーク市民のタクシー利用機会拡大を阻害すると批判すると同時に、財政面での影響についても懸念を表明しました。ファイブボロー・タクシーと同時に予定していた、2,000 台の車椅子対応のイエローキャブに対する追加ライセンス発行により計上していた 10 億ドルの歳入が失われることで、2012 年予算に 6 億 3,500 万ドルの穴が空くということです。

Acott Stringer マンハッタン・ボロー・プレジデント (行政区長) は州高裁の決定に対し失望を表明し、「最も重要なのは、マンハッタンの中心部以外の市民はタクシーサービスに関しては二流市民扱いを受けていることだ。市民はより良いタクシーサービスを受ける権利があり、これ以上待つことはできない」と語りました。

また、Michael Cardozo ニューヨーク市法務部顧問弁護士は「ファイブボロー・タクシーは、イエローキャブがカバーしていない地域で信頼できるタクシー・サービ

スを提供する。一方で、新規に 2,000 台の車椅子対応イエローキャブを供給する。我々は、ふたつの重要な交通戦略を提案しているのだ。州最高裁判所は州高裁の判決を支持するだろう」との見通しを示しています。

#### 4. タクシー・サービスは「公共交通」

ニューヨーク市タクシー・リムジン局が所管するイエローキャブやリバリー等の輸送人員合計は、全米の公共交通機関で第 4 位と（下表参照）、極めて重要な「公共交通」として位置づけられています。同局はファイブボロー・タクシー導入のメリットとして次の 4 点を挙げています。

- ① 容易に見分けることができる安全で合法的な輸送サービスを提供する。
- ② マンハッタン以外で自家用車無しの生活が可能となり、環境負荷を軽減し、駐車場の増設が不要となり、交通混雑を緩和する。
- ③ 少ない資本投資で公共交通ネットワークを拡大する。
- ④ リバリー業界に新たな経済的チャンスを創出する。

| Rank | System Name  | City          | 2008 Daily Passenger Trips |
|------|--|---------------|----------------------------|
| 1    | MTA New York City Transit(NYCT)                                  | New York      | 9,140,800                  |
| 2    | Chicago Transit Authority(CTA)                                   | Chicago       | 1,442,000                  |
| 3    | Los Angeles County Metropolitan Transportation Authority(LACMTA) | Los Angeles   | 1,304,200                  |
| 4    | NYC Taxi and Limousine: All Regulated Industries                 | New York      | 1,200,000                  |
| 5    | Washington Metropolitan Area Transit Authority(WMATA)            | Washington    | 1,165,000                  |
| 6    | Massachusetts Bay Transportation Authority(MBTA)                 | Boston        | 1,015,700                  |
| 7    | Southeastern Pennsylvania Transportation Authority(SEPTA)        | Philadelphia  | 934,100                    |
| 8    | New Jersey Transit Corporation(NJ TRANSIT)                       | Newark        | 759,300                    |
| 9    | San Francisco Municipal Railway(MUNI)                            | San Francisco | 606,000                    |
| 10   | Metropolitan Atlanta Rapid Transit Authority(MARTA)              | Atlanta       | 413,500                    |

Source: 2010 Public Transportation Fact Book, 61st Edition, April 2010, American Public Transportation Association and NYC Taxi and Limousine Commission Estimate

ニューヨーク市の 2007 年の調査によれば、イエローキャブ利用者の 66%はタクシーの存在により自家用車不要の生活が可能になっていると回答しています。また、2009 年の調査では、マンハッタン北部、ブロンクス、クイーンズ、ブルックリンの自家用車を所有しない家庭の 97%において、調査前 1 ヶ月以内にタクシー又はリバリーを利用したことがあると回答しています。タクシーとリバリーは市民の暮らしに欠くことができないものとなっているのです。今後人口が急増する、マンハッタン以外の地区において質の高い公共交通サービスを提供していくうえで、ファイブボロー・タクシーの早期導入の声は益々高まっていくのではないのでしょうか。

(園原次長 東京都派遣)